定款事業４　在宅ケアの推進及び支援に関する事業

訪問看護ステーション清水事業報告

所長　　漆畑　理津子

事業実績	利用者延数	894 人（介護保険　715 人）（医療保険　179 人）	新規利用者数	47 名
	訪問看護延回数	4168 件（介護保険 3350 件）（医療保険 818 件）	終了者数	47 名

令和６年度 活動目標	1　看護師を採用し利用者数を確保する事で安定した経営をする 2　新職員を含めたスタッフ育成により安心できる訪問看護を提供する
令和６年度 活動評価	入退職が多く常勤換算の変動が激しい年度となり、安定した経営が難しい状況であった。 9 月以降は職員状況が落ち着き、積極的に新規利用者の受け入れを再開した。新規依頼は月平均 3.9 名あったが、終了者数も同様であったため、利用者人数が増えず、付随して訪問件数も増加しない状況が続いてしまった。看看連携会議、退院カンファレンス、担当者会議へは求められた時は参加する事ができ、連携を深める事ができた。ゼスト導入によりスケジュール作成を開始、移動の効率は重視される様になった。 新職員を含めて月１回の勉強会を実施、安心できる訪問看護の提供に努める事ができた。
今後の課題	1　利用者の拡大を図り経営を安定させる 2　多様な医療ニーズに対応した訪問看護を提供できるよう看護の質を向上させる
職員状況	看護職常勤３名 ／ 看護職非常勤　４名（常勤換算　1.4 名） ／ 事務員１名 令和６年４月１日現在

介護保険看護単位別延訪問回数	
訪問看護1（20分未満）	2
訪問看護2（30分未満）	822
訪問看護3（30分以上1時間未満）	2,388
訪問看護4（1時間以上1時間半未満）	138
訪問看護PT（20分以上40分未満）	0
訪問看護PT（60分）	0
合　計	3350

年齢・性別実数　（人）

	介護保険		医療保険	
	男	女	男	女
10歳未満	0	0	0	0
10代	0	0	0	0
20代	0	0	12	6
30代	0	0	12	0
40代	0	0	12	0
50代	10	0	0	10
60代	0	0	0	10
70代	81	74	47	12
80代	162	199	15	13
90代	33	117	16	14
100代	1	38	0	0
合　計	287	428	114	65

地域支援	介護者の会「さくらばしサロン」	場　所	訪問看護ステーション清水事業所内
		開催日	令和７年 2 月 6 日（木）・14 日（金）・27 日（木）
		対象者	当ステーション利用者の令和４年 10 月～令和５年９月に終了された方の家族 47 名
		参加者	11 名（男性　1 名　女性　10 名）
		目　的	当ステーションを利用し、介護を終えた方々のグリーフケア及び関わったスタッフのグリーフケアを行う。
		内　容	ステーションの利用終了者の家族にはがきを出し、電話対応の時間を設け、掛けていただいた方の話を傾聴する。
		評価 まとめ	多くの利用者家族から連絡があり、現在の心境や体調、介護当時の思い、訪問看護への意見・要望を聞く事ができた。遺族のグリーフケアと同時に自分の看護を振り返る機会となった。短期間でお看取りとなった家族からも連絡があり、感謝の言葉を聞く事ができ、本人・家族に寄り添ったターミナルケアができていたと感じた。

	会議名	出席者
外部会議への出席	静岡市立清水病院看看連携交流会	漆畑理津子
	桜ヶ丘病院看看連携交流会	漆畑理津子
	医療・介護の連携における情報交換会	漆畑理津子・川原有見子
	岡船越圏域ケア会議	漆畑理津子・川原有見子
	静岡県立大学看護学部 実習協議会 分科会(在宅看護学)	梅村惠
	常葉大学 健康科学部看護学科 臨地実習連携協議会	梅村惠
講師	派遣先	講師名
	静岡市立清水看護専門学校	漆畑理津子
実習生受入れ	所属施設	人数
	静岡市立清水看護専門学校	4 名
	静岡県立大学看護学部	16 名
	常葉大学健康科学部看護学科	4 名
	静岡県訪問看護ステーション協議会・新任訪問看護師等育成研修	1 名
	ケアマネジャー在宅医療研修	1 名
	静岡県看護協会・訪問看護師養成講習会	1 名

	研修名	
職員研修一覧	静岡県看護協会立訪問看護ステーション合同研修会	訪問看護サミット 2024
	精神科訪問看護研修	訪問看護管理者育成研修ステップⅢ
	精神科訪問看護に使えるアセスメント	令和 6 年度認知療法研修会～質問力を磨く～
	看看連携研修会(静岡県立総合病院)	看看連携研修会(静岡県看護協会静岡地区支部)
	慢性期医療を考える会	静岡市専門職研修・在宅医等養成研修
	清水区の在宅医療や地域包括ケアに関わる多職種連携会	高齢者虐待の通報・通報後の動きを知ろう
	認定看護師による研修動画(静岡済生会病院)計 3 回	特定行為研修修了者研修会
	訪問看護師養成講習会	訪問看護ステーション協議会中部支部管理者研修
	安全運転管理者等講習会	所内勉強会（21 回）

定款事業４　在宅ケアの推進及び支援に関する事業

訪問看護ステーション大東事業報告

所長　萩田久美子

事業実績	利用者延数	1,786 人（介護保険 1,356 人）（医療保険　430 人）	新規利用者数	75 名
	訪問看護延回数	8,826 件（介護保険 6,359 件）（医療保険 2,467 件）	終了者数	90 名

令和６年度 活動目標	1　断らない訪問を目標に、安定した経営状態を維持する 2　質の高い訪問看護の提供 3　職場環境の改善を図り、働きやすい環境を整備する
令和６年度 活動評価	1　今年度も当 ST の PR を開業医や病院に行ったが、利用者の死亡や在宅から施設等への入所件数が増加しており、訪問目標件数を維持する事が難しい現状となっている 2　認定看護師による研修会開催やスタッフ１研修参加により、最新の知識を得て看護の質を確保できる環境を整備した 3　働きやすい環境を整備するために看護計画をパス化し記録時間短縮を目指した。スタッフ全員が記録の時間短縮につながったと評価。更に看護業務の負担軽減体制の整備として、①夜間対応時の勤務体制整備を行い、22 時以降に出勤した場合は時間休で早めに帰宅できるように調整した②ZEST 導入により、勤務表作成時間の短縮に効果があった
今後の課題	1　訪問看護の PR を強化し、地域との連携を図り安定した経営を目指す 2　多様な健康問題を抱えた利用者に対応できるよう看護の質を維持する 3　職場環境を整え、働きやすい環境をつくる
職員状況	看護職常勤５名／看護職非常勤６名（常勤換算 3.9 名）／事務員１名／理学療法士１名 令和６年４月１日現在

介護保険看護単位別延訪問回数

訪問看護1（20分未満）	0
訪問看護2（30分未満）	1238
訪問看護3（30分以上1時間未満）	4149
訪問看護4（1時間以上1時間半未満）	242
訪問看護PT（20分以上40分未満）	730
訪問看護PT（60分）	0
合　計	6359

年齢・性別実数　（人）

	介護保険		医療保険	
	男	女	男	女
10歳未満	0	0	24	12
10代	0	0	9	0
20代	0	0	0	12
30代	0	0	0	24
40代	0	12	8	20
50代	1	0	16	66
60代	51	36	32	44
70代	143	168	69	25
80代	191	193	36	17
90代	176	311	12	4
100代	0	74	0	0
合　計	562	794	206	224

地域支援	癌と宣告された方に寄り添うスキルを学ぶ	場　所	掛川市大東市民交流センター（掛川市役所大東支所３階）		
		開催日	令和６年 10 月９日（水）　18：00～19：30		
		対象者	近隣施設の医療・福祉関係者	参加者	31 名
		目　的	1　地域の保健・看護・介護を担う人々を対象に、人生会議（ACP）意思決定支援を踏まえ、病名告知を受けた方との会話やケアに役立ていけるスキルを学ぶ機会とする 2　地域の専門職と訪問看護ステーション間で連携を図る事ができる		
		講　師	中東遠総合医療センター　緩和ケア特定認定看護師　櫻井尚子　氏		
		内　容	講話「がんと宣告された方とのかかわり」		
		評　価 まとめ	信頼関係を構築し、利用者が安心して思いを吐露できる、サポートできる人材になる為には、身体、精神の状態をアセスメントし、その時々の表情を見逃さない事ややり取りの中での言葉のピースを聞き逃さずに拾い集められる感受性や能力が必要とされる。コミュニケーションやカウンセリングの基本についても学ぶ事が出来た。告知を受けた利用者の気持ちは常に揺れ動いていると考え、医師からの IC 内容を本人、家族の言葉で表現してもらい、IC 内容の捉え方を知る事から始まり、医師の見解とのズレがあれば仲立ちの役割を担うなど、適切な対応を適切な時期に適切な方法で提供できるように研修で学んだ知識を更に自己研鑽し日々の看護に活かしていきたい。医師の中には、訪問看護の介入は、治療が出来なくなった段階で開始するものという考えが、まだまだあるという現実にショックを受けた。急性期病院へ訪問看護の必要性を働き掛けていく必要があると感じた。		

家族交流会	場　所	掛川市大東市民交流センター（掛川市役所大東支所３階）			
	開催日	令和６年 11 月９日（土）　９：30～11：30			
	対象者	訪問看護利用者及び家族	参加者	12 名	
	目　的	1　在宅介護をする家族同士が交流し日頃の悩みを共有する事で、不安や孤独感が軽減でき今後の介護へつなげることができる 2　訪問看護利用のメリットを知ってもらい、利用の拡大につなげる事ができる			
	講　師	訪問看護ステーション大東　理学療法士　森美帆 ユニ・チャーム㈱静岡営業所　小林美穂氏			
	内　容	癒しのストレッチ 講話「正しいおむつのあて方」			
	評　価 まとめ	ストレッチの基本を学び実技を行った事で、「身体が楽になった」「リフレッシュできた」との意見が多く聞かれた。おむつの正しい当て方の研修では、「おむつの種類や選び方のコツ」「尿もれしない正しいおむつの当て方」を学んだ。実際の介護の場面では、安価なおむつを選択する事が多いが、おむつの性能を理解し選択する事が皮膚にも必要であるという事が理解できた。参加者全員から「今後の介護に活かせる。役になった」と満足度の高い研修となった。更に座談会では、日常の介護場面や悩み事について、積極的な意見交換が行われた。「座談会のように話しができる場が嬉しい」「訪問看護介入時に話を聞いてもらえる事が嬉しい」との意見が多く、介護の悩みや苦労について自由に話せる場が必要であると改めて実感できた。			
	中止	JA 健康フェア			

外部会議への出席	会議名	出席者
	①掛川市介護保険事業所連絡会（web）　②中東遠訪問看護研究会	萩田久美子
	③南部大須賀ふくしあ連絡調整会議　④地域精神保健講座（web）	萩田久美子
	⑤掛川市地域包括支援センター運営協議会　⑥相談協力員懇談会	萩田久美子
	⑦大東地域の連携を考える「つなぐ会」役員会、他職種合同会議	齋藤教子・職員全員
	⑧南部大東ふくしあ連絡調整会議．連携会議	萩田久美子・柴田ひとみ

講師派遣	派遣先	講師名
	ふくしあ事例検討会	萩田久美子・柴田ひとみ・大倉美津子

実習生受入れ	所属施設	人数
	東海アクシス看護専門学校　在宅看護論実習	12 名
	中東遠総合医療センター　他施設相互研修	１名
	中東遠総合医療センター　医療機関の看護師研修	１名
	大東居宅介護支援事業所　ケアマネジャー在宅医療研修	１名

職員研修一覧	研修名	
	安全運転管理者講習	がんと宣告された方とのかかわり
	最新の感染予防　在宅・施設における感染予防対策の実際（web）	静岡県看護協会立訪問看護ステーション合同研修会
	訪問看護技術向上研修　他７件	訪問看護職員病院研修
	災害救護所ボランティア育成研修会	避難訓練１回
	災害対策委員会２回	事例検討１回
	感染症対策委員会２回	虐待防止委員会２回

定款事業４　在宅ケアの推進及び支援に関する事業

訪問看護ステーション掛川事業報告

所長　　赤堀　奈緒子

事業実績	利用者延数	2,309 名（内 サテライト　606 名） （介護保険 1,781 人）（医療保険 528 人）	新規利用者数	143 名(内 サテライト 41 名)
	訪問看護延回数	9,057 回（内 サテライト　2,354 回） （介護保険 6,550 件)（医療保険 2,507 件）	終了者数	141 名(内 サテライト 41 名)

令和６年度 活動目標	1 利用者数・訪問件数の確保と安定した経営状態の維持 2 訪問看護の質の維持・向上のためのステーション内外で連携・教育 3 安心・安全な業務運営のために体制の充実 4 風通しの良い職場風土の維持
令和６年度 活動評価	1 コンスタントに新規依頼はあるが、短期間で終了する利用者が多く訪問件数は伸び悩んでおり、引き続き関係機関との連携を丁寧に行っていく。医療保険のオンライン請求は問題なく導入できた。 2 看取りや医療依存度の高いケース、複合的な課題を抱えるケースについては複数名のスタッフで情報共有、検討しながら関わり、ステーション全体でも事例検討を行ったり、他事業所との連携も密に取れている。 3 常勤者中心に業務ごとのリーダーを決めて取り組んでいる。安心・安全な運営のための注意喚起や情報共有に勤めている。 4 職種、勤務状況関係なく話しやすい雰囲気であり、維持していく。
今後の 課題	人員確保と、安定した利用者数、訪問件数の確保 訪問看護の質の向上のための 0JT、情報共有の充実 他機関多職種との積極的な連携
職員状況	看護職常勤６名／看護職非常勤５名（常勤換算 3.7 名）／事務員２名 令和６年４月１日現在

介護保険看護単位別延訪問回数	
訪問看護1（20分未満）	0
訪問看護2（30分未満）	1830
訪問看護3（30分以上1時間未満）	4675
訪問看護4（1時間以上1時間半未満）	45
訪問看護PT（20分以上40分未満）	0
訪問看護PT（60分）	0
合　計	6550

年齢・性別実数　（人）

	介護保険		医療保険	
	男	女	男	女
10歳未満	0	0	28	3
10代	0	0	8	37
20代	0	0	13	21
30代	0	0	27	0
40代	0	4	48	8
50代	47	0	21	28
60代	36	23	11	56
70代	174	139	63	48
80代	319	467	53	50
90代	127	383	4	0
100代	7	55	1	0
合　計	710	1071	277	251

地域支援	スイートピーの会	場　所	掛川市東部ふくしあ	開催日	令和６年 11 月９日(土)
		参加者	1 年間で当ステーションを利用し、ご自宅等で亡くなられた方のご遺族 13 名とスタッフ等 13 名		
		まとめ	当ステーションを利用し亡くなられた方のご遺族をお招きし、介護、療養生活を労い、悲しみを癒す機会として開催している。少人数のグループでの自由トーク、全員で共有する場面では苦労や思い出話で泣き、笑い、最後は元気にヤングマンを踊りながら歌い、和やかに散会となった。ご家族は、関わったスタッフや他のご家族との対話が慰労につながっている。スタッフにとってはご家族の様々な思いに触れ、日々の振り返りや終末期の看護を考える機会となった。		

	掛川ふれあい広場	場　所	掛川市生涯学習センター	開催日	令和 6 年 10 月 20 日(日)
		参加者	看護師　午前午後各 3 名		
		目　的	ブースを設置して参加。イベントに参加する障害者や来場者 40 名がブースを訪れ、健康相談、介護相談等を実施した。椅子に腰かけてじっくりとお話しされる方もあった。訪問看護を紹介する展示物や DVD の動画に足を止めて見入る方もあった。障害を抱えながらイベントに参加する方達や一般市民の来場者との交流から学び得ることも多く、次年度以降も参加していきたい。		

	会議名	出席者
外部会議への出席	西部ふくしあ連絡会・東部ふくしあ連絡会	赤堀奈緒子　友田宏美　木村智子
	中東遠地域自立支援協議会重心部会	赤堀奈緒子
	かけふく看看ネットワーク会議	赤堀奈緒子
	訪問看護師養成講習会・打ち合わせ	赤堀奈緒子
	令和 6 年度在宅医療介護連携ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ情報交換会	赤堀奈緒子
	地域支え合い推進協議会	赤堀奈緒子
	掛川市医療救護防災部会	赤堀奈緒子
	掛川市高齢者福祉計画等推進委員会	赤堀奈緒子
	他 12 件	

	派遣先	講師名
講師派遣一覧	静岡県立大学看護学部	赤堀奈緒子
	静岡県訪問看護ステーション協議会	赤堀奈緒子
	他 4 件	

	所属施設	人数
実習生受入れ	東海アクシス看護専門学校	12 名
	弥富看護学校	4 名
	他 4 件	

	研修名	
職員研修一覧	多職種連携会さてつ	精神科訪問看護研修
	静岡県看護協会訪問看護ステーション合同研修	訪問看護師養成講習会
	重曹的支援体制整備事業研修会	在宅ターミナルケア
	訪問看護管理者研修	磐周医師会・磐田市医師会学術講演会
	他 8 件	

定款事業４　在宅ケアの推進及び支援に関する事業

訪問看護ステーションいわた事業報告

所長　　長瀬　由美

事業実績	利用者延数	1,980 名（介護保険 1,294 名）（医療保険　663 名）（医療的ケア児 23 名）	新規利用者数	121 名
	訪問看護延回数	10,907 回（介護保険 6,244 回）（医療保険 3,453 回）（医療的ケア児 243 回）	利用終了者数	122 名

令和６年度活動目標	1　訪問看護事業一本化で経営安定を図り、地域のニーズに合わせた質の高い看護を提供する 2　BCP 訓練を通して地域における災害時の支援体制を構築する
令和６年度活動評価	居宅介護支援事業休止に関係なく訪問看護の新規依頼があり、がん末期や介護保険の短期利用が多い傾向にある。看護師確保ができず全体の訪問件数は減少した。独居・老老ケースや家族関係に問題を抱えるケース等が年々増加し、多職種で家族丸ごと支援する機会が増えた。現状に対応するために職員一人一研修や WEB 研修等の活用で、看護の知識・技術の向上を図ることができた。「県立学校医療的ケア児就学支援事業」では特別支援学校看護師へ人工呼吸器管理の移行を今年度完了することができた。「磐田市医療的ケア児保育支援事業」では保育園へインスリン管理園児の支援を継続している。当事業所の感染症を含む自然災害 BCP と、磐田市訪問看護ステーション連絡会 BCP の見直しを行なった。磐田市災害時医療救護対策委員会へ参加し、行政等と地域の災害対策を検討する中で改めて看護師の役割と業務を整理することができた。引き続き BCP・災害対策の検討をしていく必要がある。
今後の課題	1　人材育成とさらに働きやすい職場環境作り 2　ICT 活用による業務の効率化と質の高い看護の提供を両方進める
職員状況	看護職常勤６名／看護職非常勤５名（常勤換算 3.5 名）／理学療法士２名／事務員２名 令和６年４月１日現在

介護保険看護単位別延訪問回数

訪問看護1（20分未満）	0
訪問看護2（30分未満）	815
訪問看護3（30分以上1時間未満）	4386
訪問看護4（1時間以上1時間半未満）	74
訪問看護PT（20分以上40分未満）	969
訪問看護PT（60分）	0
合　計	6244

年齢・性別実数　（人）

	介護保険		医療保険	
	男	女	男	女
10歳未満	0	0	26	11
10代	0	0	7	25
20代	0	0	26	12
30代	0	0	35	31
40代	0	0	10	18
50代	21	4	39	69
60代	19	25	51	65
70代	72	152	56	74
80代	255	324	16	66
90代	79	317	3	23
100代	0	26	0	0
合　計	446	848	269	394

地域支援	第10回いわたキッズと親の交流会	内容等	令和７年１月 28 日（火）15:30～17:00　磐田市急患センター2 階会議室 磐田市内の障害児者に関わる医療と福祉の支援者(医療的ケア児コーディネーター）10 名 「訪問看護での就学支援事業から特別支援学校でのケア移行について」報告 訪問看護ステーションいわた　鈴木紀支子 家族が病気などで介護困難な場合の緊急時の対応や短期入所利用などの現状と実例発表と情報共有
		まとめ	訪問看護師から学校看護師への人工呼吸器管理移行に向けて、具体的な支援の現状を伝え、共有することができた。当ステーション利用者の緊急対応が生じて短期入所につなげた事例を発表し意見交換した。家族の体調不良等で介護困難時の緊急対応や短期入所利用が課題であり、今後も検討していく必要がある。
	第６回ナース交流会	内容等	令和６年８月３日（土）14：00～16：00　磐田市急患センター2 階会議室 磐田市内の事業所に従事する看護職 23 名参加 「ストマケアの基本　スキンテアについて」講義 磐田市立総合病院　皮膚排泄ケア認定看護師　高根亜津子氏 「各職場で困っていることや事例について」グループワーク
		まとめ	最新のストマケアに加え高齢者のスキンテアの講義は、すぐに活用できる学びであった。グループワークではケア方法の悩みや工夫を共有し活発に意見交換ができた。

	ふくでふれあいまつり	内容等	令和6年11月10日（日）9：00～13：30　福田中央交流センター 子どもから高齢者までのあらゆる世代の住民　ブース来場者107名 血圧測定、健康相談、介護相談、訪問看護ステーションのPR、救護係の支援
		まとめ	血圧測定中に日ごろの自分の健康管理を話す方が多く、相談にのることで訪問看護の看護師が地域にいることをアピールすることができた。参加事業所同士のつながり強化の機会にもなった。今後も継続して本事業に参加していく。

	会議名	出席者
外部会議への出席	磐田市医療的ケア児者支援者ネットワーク会議	長瀬由美　福田弘子
	磐田市障害者施策推進協議会	福田弘子
	静岡県医療的ケア児等支援ネットワーク会議	長瀬由美
	磐田市災害時医療救護対策委員会	長瀬由美
	磐田市医療的ケア児保育支援検討会	長瀬由美
	南地区地域づくり協議会運営委員会	長瀬由美
	磐田市地域包括支援センター選定委員会　　他15件	長瀬由美

	派遣先	講師名
講師派遣	静岡県看護協会	在宅ケア認定看護師　長瀬由美
	浜松市立看護専門学校	在宅ケア認定看護師　長瀬由美

	所属施設	人数
実習生受入れ	東海アクシス看護専門学校	54名
	静岡県訪問看護ステーション協議会	6名
	安西学園　弥富看護学校	8名
	静岡県看護協会　看護職員管理者の相互研修	2名
	静岡県看護協会　訪問看護養成講習会	2名
	磐田すずかけホスピタル（出向事業）	1名

	研修名	
職員研修一覧	静岡県看護協会立訪問看護ステーション合同研修会	認定看護管理者教育課程ファーストレベル
	訪問看護サミット	安全運転管理者講習会
	訪問看護職員の病院研修支援事業	医療的ケア児等コーディネーター勉強会
	重症心身障碍児(者）対応看護従事者養成研修	医療従事者向け障害福祉事業研修
	静岡県医療的ケア児コーディネーター養成研修	高齢者虐待研修
	在宅重症心身障害児者対応多職種連携研修	感染症対策研修
	訪問看護職員の病院研修	多職種事例検討会
	看護業務効率化アワード事例報告会	グリーフケア研修会
	訪問看護出向研修支援事業・訪問看護職員の病院研修事業実践報告会	認知症ケア交流集会　実践報告
	難病医療従事者講習会	家族看護研修　　他13件